

スクランブル

編集委員：青少年対策大井第二地区委員会
山中小学校PTA・大井第一小学校PTA
伊藤学園PTA・各学校OB&OG

編集・発行：大井第二地区スクランブル編集委員会
品川区大井2-27-20 大井第二地域センター内
TEL(3772)2000 FAX(5709)7627

URL:http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000007700/hpg000007613.htm



支え愛・ほっとステーションは、社会福祉協議会が運営する身近な福祉の相談窓口として区内地域センター内に設けられています。現在は8か所に設置、今後順次13か所に設置予定とのことです。今回は、「日常のちょっと困った」をサポートしてくれる「大井第二地域センター 支え愛・ほっとステーション」をご紹介します。



大井第二地域センターに常駐しているコーディネーター（社会福祉士）の中村さんと横瀬さんにお話を伺いました。

大井第二地域センター 支え愛・ほっとステーション ぜひ、利用してみてください！



できる時間に、できることを！
支援員募集中(^_^)

① 困りごとはお気軽に 身近な相談窓口

家電製品の修理のような専門的なことはできませんが、電気屋さんを教えてくれたり、近くのお弁当屋さんやタクシー会社などの連絡先をまとめた「お役立ち情報集」を用意したりしています。困った事、気になることがあったら、気軽に電話をして相談できます。月に10～15件相談があり、リピーターの方も増えているそうです。



② ちょっとしたお手伝い ほっとサービス

電話一本でお気軽に！大井第二地区内の、ご高齢の方・お体が不自由な方が30分200円で利用できます。「腰が痛くて買物に行けない」「薬をもらってきてほしい」「お花の水やりをお願いしたい」などのちょっとした困りごとや「話し相手になってほしい」「一人じゃ不安なので、一緒にお散歩に行ってほしい」など。現在地域支援員（ボランティア）21名の方々がサポートしてくれています。地域支援員（ボランティア）を随時募集しています！！

<<利用者の声>>

単身で暮らしていますので、引越しの時の片付けをお願いしました。来ていただいた支援員さんがとてもいい人だったので、それからは薬の受け取りやお散歩の付き添いなどを依頼しています。気軽に頼めて助かっています。
《80代女性》

<<支援員の声>>

フルタイムの仕事を辞め、自分の時間が増えたので何か役立つことに時間を使いたいと思い、支援員に登録しました。決まった時間ではなく、ホントに自分の都合のつくちょっとした時間で、「ありがとう」の一言がいただけて支援する時間が楽しみです。
《50代女性》

③ 出前講座 見守りサポーター養成講座

高齢者の見守りは、以前から民生委員や町会の方々が担っていますが、それに加えて子どもから大人までのあらゆる世代の地域住民による【緩やかな見守り】が非常に大切です。例えば郵便受けに新聞などがたまっている、同じ洗濯物が何日も干したままになっている、最近顔を見かけない…など、小さな異変の気付きが見守りの第一歩になります。「見守りサポーター養成講座」を無料で行ってくれます。私たち編集委員もこの機会に講習を申込み、受講しました。中村さん、横瀬さんから、区の福祉事情や見守りポイントをクイズも交えた紙芝居形式で説明していただきました。町会やマンションの集会、サークルなど数名集まればどなたでも申込みができます。ぜひ受講してみてください。



↑真剣に受講する編集委員たち

<<受講した編集委員の声！>>

地域の人にしか分からない身近な気付きが支援に繋がっていくことを知りました。(H)

人口の5人に1人が高齢者だと知り、予想以上に驚きました。見守りの必要性を改めて感じ、孤立しがちな高齢者を地域で助け合えるといいなと思いました。(K)

挨拶を心がけること、昨日と今は何が違う地域の些細な変化に気づくこと等、年齢関係なく生活の中で簡単にできることが見守り活動の一つだと分かりました。(H)

ちょっと意識を変えるだけで、見守りになるんですね。気付いた時に相談できる窓口がそばにあることも良いなと思いました。(S)

私たちも、この講座によって【緩やかな見守り】の大切さを理解することができました。そして小さな異変に気付いたら、地域センター内の支え愛・ほっとステーションに相談できると知り、安心しました。ぜひ皆さんでも【緩やかな見守り】の輪を広げていきましょう。(T)

【問合せ】

大井第二地域センター
支え愛・ほっとステーション
03-5728-9093
月～金 9時～17時（祝日除く）
大井2-27-20
（大井第二地域センター内）

【神田、高木、部田、平松、嶋村、高島】